

インソースの「ジャパン・ソリューション」推進冊子
組織の成長への、渴望。

VOL.
06

ENERGY

[エナジー]



教育DX

テクノロジーで実現する
生産性の向上と教育の最適化

南谷知子「謳歌」



進化する次世代型 LMS

[リーフ]

Leaf

～教育DXが人材育成のあり方を変える

社会人教育の

プロ集団が生み出した

教育管理システム

研修会社の社内システムから
生まれた LMS

インソースは、社会人向け教育を提供する企業として年間約2万回^(注1)の研修を実施しています。

これらの研修をミスなく効率良く運営するために、登壇する講師や受講者情報、カリキュラム、あるいは事前課題や事後アンケートの実施状況にいたるまで、全て社内システムで一元管理しています。

もし、このシステムをお客さまに提供することができれば、教材の配布や受講者とのやり取り、さらには課題やテストも手間なく実施できるため、お客さまの人材育成にかかる多くの負担を軽減できるのではないかと。そして人事の皆さまには「最適な教育施策を考える」という最重要課題に集中していただけるのではないかと。

こういった想いから、研修会社であるインソースが長年使い、ブラッシュアップした機能と理念をたっぷり詰め込んだ次世代型 LMS「Leaf(リーフ)」が生まれました。

(注1) 2019年10月～2020年9月
(注2) Learning Management Systemの略
人材育成・教育全体を管理するシステム

LMS先進企業も
続々と見直しの動きへ

eラーニングが登場したばかりの頃、これらを社内教育に導入した先進的な企業の多くが、海外製のLMSを使っていました。eラーニング教材は1950年代当時、アメリカを中心に開発されたため、日本にはまだ優秀な管理システムがなかったことも理由の1つです。

インソースのLMS「Leaf」は2014年にサービスを開始してから、2021年4月には利用者数150万人を突破し、日本最大規模のLMSへと成長を遂げました。

Leafを利用するお客さまの中には、初めてLMSを導入する企業だけでなく、以前からLMSを活用していた前述のようなLMS先進企業も多く見受けられます。彼らが従来のLMSからLeafに切り替える最大の理由は、海外製のLMSにはない、日本の人事部を喜ばせる機能の豊富さにあります。

自社に必要な教育を、DXがスマートに実現

日本の人事部が求めているのは「教育を徹底的におこなうための機能」

先述の通り、Leafには海外製のLMSにはない、日本の人事部のやりたいことを具現化した機能が多く実装されています。

例えば、海外のLMSは自己啓発用の作りであることに対し、Leafでは、研修でもeラーニングでも、受講者指名機能や『締切〇日前に自動催促メールを送る』機

能など、教育を徹底的におこなうことができる機能が備わっています。

「自社にピッタリのシステム」を実現できる2つの理由

また、Leafでは、従来のLMSのように動画やスライド教材をSCORM化する必要がなく、パワーポイントやPDF資料をそのまま教材として活用できます。簡単な操作で自由に・好きなだけ課題を組み合わせることも可能です。

そして、約20名のLeaf専属のエンジニアチームが、豊富なオプションをご用意するだけでなく、個々の組織に合わせた様々なカスタマイズに対応します。

過去には、お客さまオリジナルの修了証の発行や人事システムとの連携、あるいはお客さま独自の承認フローの実現といった対応実績があります。

加速する教育DXのグローバル化と「個」への最適化

「いかなる状況でも

教育の水準は落とさない」が最低条件

Leafをご利用いただくユーザー数の増加にともない、日々様々なご要望をいただいております。

中でもコロナ禍によるリモートワーク拡大に合わせた、教育のeラーニング化が加速しており、「今までの教育水準を落とさずにeラーニングを実施したい」というご意見が多く寄せられております。

お客さまの社内教育の質を落とさない、快適な環境整備は勿論のこと、当社ではもう一段階上の革新的な教育DXを、Leafのパイジョンアップで継続的に提供してまいります。

進化するLeafで

「革新的な教育DX」を叶える

2021年9月のバージョンアップで実装予定の機能やサービスを紹介します。

LMSの価値は今、「いかに不由なくeラーニングを実施するか」という次元から、「多様な人材に対していかに最適な教育を提供するか」に向かっています。インソースの提供するLeafは、常にその最前線を走っています。

(次ページに続く)



田中 俊

株式会社インソース 執行役員 IT サービス事業部 部長。大阪大学理学部卒。食品企業の営業・マーケティングやコールセンター役員、インキュベーターとして海外事業の立上げ等を経験。2013年9月インソース入社。人事サポートシステム「Leaf(リーフ)」の事業責任者として、初期開発からストレスチェック機能、評価シートWEB化等の新機能や関連サービスの構築に広く携わる。2016年8月から執行役員に就任。

03 Leaf Greens

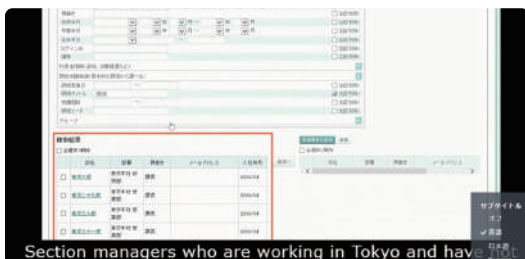


従業員のメンタルヘルスケアに繋がる、ストレスチェック機能の違い方

Leafのメンタルヘルスケア機能は、ストレスチェック機能と連携して、従業員のメンタルヘルスケアをサポートします。ストレスチェック機能は、従業員のメンタルヘルス状態を把握するためのツールです。Leafのメンタルヘルスケア機能は、ストレスチェック機能と連携して、従業員のメンタルヘルスケアをサポートします。

Leafをご利用中の管理者向けポータルサイト。Leafによる教育効果向上や効率化の手法、中々知られていないLeafの便利な使い方等、有用な情報を発信します。

04 Leaf Translator



Section managers who are working in Tokyo and hav

音声が入った動画教材をLeafに格納すると、日本語、英語、中国語、韓国語の字幕を自動生成して再生します。受講者は4言語から好きな言語を選んで字幕入りの動画教材を再生できます。

05 Leafとお客さまの人事システムを自動連携するためのAPI



今お使いの人事給与システムやグループウェア(社員の所属や等級等、人事情報)と、Leaf内の情報(教育・資格・評価情報)との相互連携を容易にします。



2021年9月

バージョンアップ予定

※内容を変更する可能性があります

01 Leaf Lightning



eラーニング機能に特化したLeafスピノフバージョン。マルチデバイス対応で、必要な情報の登録だけで簡単にeラーニングを開始できます。

02 Leaf Light Management



Leafと連携できる、社員情報の管理等、煩雑な人事作業を支援するシステム。入社・退職時の手続きから、交通費管理、年末調整の実施まで、作業ミスと工数削減を実現します。



活用のすすめ

お客さま事例集

多機能なLMS“Leaf”には、あまり知られていない活用法や、便利な機能が数多くあります。

これらをお客さまの声とともにご紹介します。



case 01

eラーニング環境の最適化と社員教育の一元管理を実現

- アクセス・受講制限なし
- 受講案内、資料保管、教育管理をワンストップ

業種

金融業

利用規模

10,000名以上

case 02

社内で作成した動画教材をそのまま国内外の従業員に配信

- 動画容量無制限
- 元のファイル形式でアップ可能

業種

物流業

利用規模

6,000名以上

お客さまの声▼ 以前から使っていたLMSでは、アクセスが集中した際にログイン制限がかかるため、受講者が好きな時に動画を視聴できなかったり、eラーニング教材を充実させるハードルになっていました。また社員への通知や資料保管などは別のツールに頼っていたため、教育管理が煩雑でした。Leafはアクセス制限がなく、様々な動画を同時配信しても受講者の負担になりません。また、過去の教育履歴の記録といった教育の一元管理も標準機能で実現しました。



お客さまの声▼ 一般的なLMSは格納できる動画の本数やデータ量に上限があり、データ変換やアップロードも手間でした。Leafは容量・本数の上限がなく、変換作業も不要なため、社内で作成した動画教材を追加料金なしでどんどんアップロードできます。当社は全国に拠点があるので、例えば東京近郊で開催した研修を撮影してLeafにアップロードすることで、全ての拠点の従業員が同様の教育を受けられるようになりました。



case 03

厳しいセキュリティの中でも
事業所外でも
eラーニングが可能

- 金融業のレベルを満たすセキュリティ
- 専用サーバーで安心運用

業種

金融業

利用規模

9,000名以上

お客様の声▼ 当社は金融業という特性上、重要な顧客情報を扱う業務用PCはインターネットへの接続が許可されていません。一方で、コロナ禍の影響もあり、自宅や事業所外からアクセスしてテスト受検に必要なeラーニングを継続したいという声もありました。どんな環境でも平等にeラーニング環境を整えるために、セキュリティ要件を満たす専用サーバーでLeafを構築してもらいました。



case 04

2カ月の短期間で
5千人以上に
eラーニングを実施

- システムに不慣れでも直感的な操作が可能
- 未受講者へのリマインドが容易

業種

製造業／自動車

利用規模

5,500名以上

お客様の声▼ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で従来の集合研修の実施を見送ることになり、約2カ月の短期利用でeラーニング教育を実施しました。Leafは、受講者が動画閲覧と課題、アンケート回答をすべて1つのシステムでできるうえに、システムに不慣れな人でも直感的に操作ができます。また、対象者全員の視聴履歴を記録できるので未受講者へのリマインドも容易で、短期間でも漏れなく全員が受講を完了できました。



case 05

パッケージシステムなのに
低コストで
独自カスタマイズに対応

- 研修会場、宿泊施設管理をワンストップ
- クレジットカード決済、宿泊予約の管理機能も追加可能

業種

製造業／電気機器

利用規模

50,000名以上

お客様の声▼ 当社では社外関係者にも研修機会を提供したり、研修会場と併設の宿泊施設を管理するなど独自の研修運営をしているため、これらの管理を1つのシステムに集約できないか検討していました。一般的に、パッケージシステムのカスタマイズは費用がかさみがちですが、今回「クレジットカード決済連携」「宿泊施設の予約管理」といった機能をLeafのカスタマイズで安価に実装することができたため、大変助かりました。



case 06 受講証明・受講記録の管理が簡単

- 教育履歴を自動で記録
- 受講証跡の記録事務の省力化

業種

製薬業／医薬品

利用規模

2,000名以上

お客さまの声▼ 私どもの業界では、薬剤に関する専門教育を実施した際、受講証跡を国に提出する義務があります。証跡の記録はこれまで手作業でおこなっていたため、提出書類の作成や記入漏れ防止対策に非常に苦労していました。Leafでは、動画教材の視聴回数や視聴時間、試験の正答率といった詳しい履歴を自動で記録し、試験の可否も簡単に確認・出力できます。「受講するだけで履歴が蓄積される」仕組みは、本当に有難いです。



case 07 社外の回線など異なる利用環境でも、自社の資料を安全に

- ASPサービスなので利用環境不問
- 教育資料をスライド機能で安全配信

業種

物流業

利用規模

10,000名以上

お客さまの声▼ 当社では顧客の大切な荷物を運ぶため、事故事例やヒヤリハットの共有が重要です。しかし、内容的に持ち出しは厳禁のため、社外に常駐し、取引先のインターネット回線を使って仕事をしている社員がボトルネックでした。LeafはASPサービスで、ネットに接続してれば環境を問わず利用できます。厳しいセキュリティ条件も難なくクリアしているため、安心して資料を配信でき、すべての社員が平等に教育を受けられる環境が整いました。



case 08 国家資格保有者3万人に、資格維持・取得のための教育を実施

- のべ24時間分の動画を同時期に3万人に配信
- 受講状況の細かなチェックが可能

業種

専門サービス業

利用規模

30,000名以上

お客さまの声▼ 国家資格に関しては、毎年必ず保有者および新規の資格取得者に向けた研修を実施していました。コロナ禍で集合型研修からeラーニングに切り替えざるを得なくなっても、教育の実施とその後の理解度チェックは必須です。のべ24時間にわたる動画教材を同時期に資格保有者3万人に配信でき、受講状況の細かなチェックと、受講後の修了証発行を短い準備期間で実現できるのはLeafだけでした。



化粧品・健康食品の研究開発や製造、販売を手掛ける株式会社ファンケル。従業員数千名規模の会社では、インソースの次世代型LMS「Leaf(リーフ)」を活用した研修管理・人事評価をおこなっている。

今号では、同社がこれまで抱えていた課題と、その解決方法についてお話を伺った。

お客さま事例 株式会社ファンケル 研修管理編

グループ全体の 教育情報を Leafに集約

～多様な研修形態・職種傾向に対応し、
自社にあった研修管理を実現

**複数のツールに
またがった複雑な
管理体制が業務を圧迫**

Leaf導入以前は、人材教育の管理・運営をどのようにされて
いましたか？

研修対象者の抽出から告知、受講者管理、事後アンケートなど、複数のツールを駆使していました(図表参照)。

ツール同士が連携されておらず、

一元管理ができなかったため、申込みやキャンセルの度に発生する管理表の更新1つ取っても非常に時間がかかっていました。

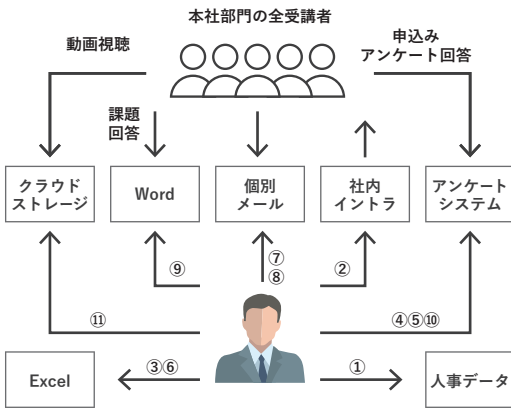
**管理体制の効率化が
喫緊の課題**

Leaf導入のキッカケをお伺いしてもよろしいですか？

2020年4月に、当社の創業40周年を迎えるにあたり、大規模



図表 | Leaf導入前の研修運営フローと使用ツール



- ① 研修対象者抽出
- ② 研修告知
- ③ 出欠管理表作成
- ④ 研修申込ツール作成
- ⑤ 研修申込状況確認
- ⑥ 出席管理表更新
- ⑦ キャンセル・変更連絡対応
- ⑧ 受講者からの問合せ対応
- ⑨ 事前課題
- ⑩ 事後アンケート
- ⑪ 研修後のフォローアップ動画

当社では「本社スタッフ」「店舗スタッフ」「コールセンター」の3つの対象者に向けて研修をおこなっているのですが、職種ごとの研修対象者を抽出するうえで必要な情報が異なります。そのため、独自に「Leaf基本項目」をカスタマイズして職種ごとに運用しています。現在、さらなる利便性向上のため、利用者検索画面のカスタマイズを進行中です。



株式会社ファンケル
教育企画部 教育企画運営グループ

三國 顕亮 氏

ファンケルグループにおける人材育成計画の立案と、本社部門の研修運営業務を担当

(注) ファンケルグループの人材教育機関

す。

育も管理しているよう検討中

だと考えております。なので、社外

研修の履歴や、ファンケル大学が主

催していない各部署独自の現場教

育も管理しているよう検討中

す。

現在では研修管理と動画視聴管

理の双方をLeafでおこなって

おります。

「動画教育」主軸に変更しました。

「集合研修」から「オンライン研修」

「動画教育」主軸に変更しました。

現在では研修管理と動画視聴管

理の双方をLeafでおこなって

おります。

「集合研修」から「オンライン研修」

「動画教育」主軸に変更しました。

現在では研修管理と動画視聴管

理の双方をLeafでおこなって

おります。

「集合研修」から「オンライン研修」

「動画教育」主軸に変更しました。

現在では研修管理と動画視聴管

理の双方をLeafでおこなって

おります。

な経営理念研修を実施することになりました。ちょうど検討を開始する頃に研修運営メンバーの異動が重なり、効率的に研修を運営することが喫緊の課題となりました。

— 導入した感想をお聞かせください。

なんとといっても、これまで複数のツールを使っていた研修管理業務が、ほぼすべてLeaf内で完結できてしまうことに感動しました。

さらに手作業に頼っていた事務手続きが自動化されたことで、作業時間が大幅に短縮されました。

集合研修・オンライン研修・動画教育をカバ

— 現在ご利用されているプランやカスタマイズ状況を教えてくださいいただけますか？

Leaf利用開始当初は基本プランで契約をしておりましたが、



お客さま事例 株式会社ファンケル 人事評価編

社会の変化に対応したグローバル化のために、 個々人が持つ“力”を 最大限評価できる 制度構築へ

取り組んでまいりました。2030年に創業50周年を迎えるにあたり、長期ビジョン「VISION 2030」を掲げました。さまざまな事業領域に挑戦し、より多くのお客さまの美しく健康で豊かな生活を支え、信頼され愛される企業集団となることを目指しております。

個々人が持つ“力”を最大限評価できる制度構築へ

「VISION 2030」において、人事評価はどのような位置づけですか？

新たな領域への挑戦や、お客さまからの信頼獲得のためには、社会の変化に対応した人材のグローバル化、ダイバーシティ経営は必要不可欠です。それらを実現させるために、個々人が持つ“力”を最大限に発揮でき、かつ“違い”を力に変えていく推進力となるのが人事制度、評価制度であると考えます。

創業50周年を前に、 目指すのは 新たな挑戦と信頼

ファンケルさまは、2030年に創業50周年を迎えます。大きな節目を前に、貴社が掲げるビジョンをお聞かせください。

ファンケルグループは創業以来、美と健康に関わる価値提供に

こだわりの

評価制度ゆえの課題

Leaf導入前の、貴社評価制度の課題についてお聞かせください。

ファンケルの店舗アセスメント（評価制度）は、スタッフのスキル向上を指針として、沢山の想いを込めて作り上げています。それゆえに、評価シート自体が雇用区分別、スキルクラス別など何パターンもあり、運用が煩雑になっていくことが課題でした。

実際、評価制度運用時はこれまで表計算ツールで作成した評価シートを使っていたのですが、シートの選択ミス、記入ミス、集計や修正作業にかかる手間が頻出していました。

求めたのは、短期間で結果を出すシステム

運用上の課題をクリアするため、評価ツールのシステム化を検討していたところ、当社教育部門（ファンケル大学）より紹介されたのがLeafです。

afです。

とは言え、導入前の不安はありました。予算の観点からも既存のパッケージシステムをカスタマイズする形での導入を考えていましたが、当社独自の評価制度を無理なく運用できるのか、「被評価者の能力と意欲の向上」という、目標としていた成果は出せるのか……これらの想いを込めて作った制度が台無しになってしまわないためにも、現状の制度を壊さず、短時間で結果を出すツールを求めていました。

手作業がなくなり、評価期間が大幅に短縮

Leafの導入で、どのような変化がありましたか？

これまで使用していた表計算ツールでのフォーマットを維持したままの移行だったので、Leafの評価シートに変わっても使用感に大きな変化は感じませんでした。他方、評価者はデータ集計なしで前年との比較やその後の分析等が可能となり、被評価者に対してより適切なフィードバックができるようになりました。また、手作業によるデータ集計の工程がなくなった事により、イメージな人的ミスは削減され、評価期間も2週間に短縮されました。想定以上の成果を感じています。



株式会社ファンケル
店舗サポート部 課長

浅井 陽治 氏

人材戦略に基づき、店舗スタッフの採用・人事制度・評価制度・労務管理のマネジメントを担当

評価制度の変化に柔軟に対応できることが大きな魅力

これから先のLeafに期待していることはありますか？

当社の店舗アセスメントはこれまでぬいて作り上げた制度ですが、他方で人事制度は時代や経営方針によって変わっていくものだと考えています。ですがその都度、運用のやり方を変更し、整備していくのは



株式会社ファンケル
店舗サポート部

瀬島 御津子 氏

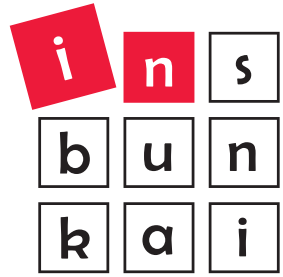
人材戦略に基づき、店舗スタッフの採用・人事制度・評価制度・労務管理を担当

大変です。Leafの場合は、例えば新たな雇用区分や、新たな指標に変更となる場合でも、柔軟なカスタマイズで運用の煩雑さを抑えられる点が魅力だと感じており、今後の対応に大いに期待しています。

要望に100%応えてくれたシステムと共に

最後に、貴社の評価制度の今後についてお聞かせください。

今回のカスタマイズにおいて、インソースの皆さまの手厚いサポートで、当社の要望を100%叶えていただきました。今後も更にお力を借りて、時代の変化に対応し、更に店舗スタッフの為になる評価制度を作り上げていきたいと思っています。



多様性を力にして
成長し続けるインソース。
個性あふれるメンバーを
様々な切り口でご紹介します。

第四回

進化する次世代型
LMSの開発事業部
担当者にきく

新機能誕生の裏側

社会人教育の会社が開発するからこそ たどり着く、教育システムの最適解

ITサービス事業部

リーダー

竹入 美幸

Leafは「進化するLMS」です。教育の記録・管理に必要な機能が既に搭載されているパッケージシステムでありながら、日々新しい機能が追加され、バージョンアップしています。

例えば、Leafには他のLMSにはない「座席表」という便利な機能がご紹介します。教育での「座席表」はレストランや映画館と違い、会場によって広さも席数も異なります。同じ会場であっても、全員が講師の方を向いて並ぶ「スクール型」や4〜5人毎をグルー

プにした「鳥型」など、用途によって席のレイアウトは変動します。その都度変わるレイアウトを、毎回教育担当者が考えるのはかなりの手間です。そこで私たちは、システム上で簡単に座席レイアウトを設定して、席のパターン毎に使い回せる機能を開発し、Leafに追加しました。

「システム開発の会社」ではなく「社会人教育の会社」のインソースだからこそ、実際に教育を実施するご担当者さまの気持ちになって最適な仕様を考え、機能を開発す

ることができます。

官民間問わず、日々多くのお客さまのご意見をヒアリングして見つけた最適解を、開発経験豊富な自社エンジニアが実現していくのはインソースならではの思いです。

今後も「社会人教育の会社」のインソースが作った「進化するLMS」Leafにご期待ください！



竹入 美幸

インソース ITサービス事業部 リーダー。津田塾大学英文学科卒。2017年インソース入社。入社後、すぐにLeaf関連サービスの販売に携わり、多くの自治体や企業との契約を獲得。Leaf利用先へのサポートコンサルタントとして部内で最も多くの顧客を担当しながら、4年間で解約発生件数0件の記録を保持している。

株式会社インソースについて

研修やITを通じて、社会課題を解決する企業です。

「スピードと集中」「ダイバーシティ実践」「ESG経営」を柱に据え、研修をはじめ、システムやアセスメントサービス等、あらゆるサービスを提供しています。全国に23拠点あり、オンライン研修累計実施回数9,398回※1、年間研修実施回数17,644回、年間研修受講者数456,735人※2と国内最大級の研修実績を誇っています。

※1: 2020年4月1日～2021年5月31日 ※2: 2020年4月～2021年3月

ENERGY 2021年夏号 編集:清水日向子、金澤裕也 デザイン:小島 すずな

お問合せはこちら ☎0120-800-225 ✉info_tokyo@insource.co.jp

株式会社インソース(東京本部) 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里4-19-12 インソース道灌山ビル

Copyright © Insource Co., Ltd. All rights reserved. 「insource」「Leaf」「WEBinsource」の名称およびロゴは株式会社インソースの登録商標です。



メディア事業部 / ITサービス事業部

AA031_210623G